

狭山池と狭山の歴史
～未来への文化遺産の継承～

大阪府立狭山池博物館副館長

植田 隆司

ようこそ
大阪府立狭山池博物館へ

来館日 平成26年9月20日



先人が残した1400年に
わたる土木技術の粋を
ごゆっくりご覧下さい

河内名所図会より
享保元年
(一八〇一年)

池の夕
短夜
月か
湘中
むけ
と

狭山池
水の池
にころは
本房
峡山
いからん
末はかり
くみ分る

狭山池と狭山の歴史 —未来への文化遺産の継承—

2014年9月20日 まちづくり大学

大阪府立狭山池博物館副館長 植田隆司

1. 文化遺産の継承

- 狭山池とは
- ▶ 1400年前に築造された、現存する日本最古のダム式ため池。
 - ▶ 南大阪地域に農業用水を供給する灌漑機能と、治水機能をもつ。
 - ▶ 飛鳥時代（7世紀）⇒ 奈良時代（8世紀）⇒ 平安時代（9世紀）⇒ 鎌倉時代（12世紀）⇒ 江戸時代（17～19世紀）⇒ 近現代へと、改修を繰り返し、維持管理され、古代から営々と受け継がれた、「**生きた遺跡**」。

狭山池 博物館とは

- ▶ **平成 13 年（2001 年）** にオープンした歴史系の博物館。
- ▶ 狭山池の土木遺産を保存・展示・研究し、**未来へ継承**する博物館。
- ▶ 平成の改修に伴う発掘調査で出土した大型の文化財を**移築展示**。
- ▶ 大阪府都市整備部が設置し、直営で運営。設計：安藤忠雄氏
- ▶ 平成 21 年（2009 年）に**大阪府・大阪狭山市で共同運営**を開始し、**大阪狭山市立郷土資料館**を併設。事業の運営は、大阪府・大阪狭山市・狭山池まつり実行委員会の**三者による協働運営**へ。
- ▶ 年間入館者数は、約 10 万人（平成 21 年度以降）。
平成 24(2012) 年 10 月に累計入館者数が 100 万人を突破。

狭山池の 文化遺産

- 狭山池** : 大阪府史跡名勝 ⇒ **国史跡**の指定をめざす
- 利水灌漑施設** : **国重要文化財「狭山池出土木樋・重源狭山池改修碑」** ⇒ 下層東樋（飛鳥時代・奈良時代）
上層東樋（江戸時代）・中樋（鎌倉時代～江戸時代）
西樋（江戸時代） 平成 26 年 8 月指定
- 府指定有形文化財「狭山池石樋蓋（石棺蓋）」** ⇒
北堤盛土内から大正・昭和初年の改修時に出土
- 市指定有形文化財「狭山池中樋放水部の石棺群」**
⇒ 中樋放水部から大正・昭和初年の改修時に出土
- 土木遺構** : 北堤断面 ⇒ 世界初の保存技術を駆使して移築展示
木製粹工 ⇒ 近世土木技術の高さを証明する遺構

2. 狭山池と狭山の歴史

旧石器時代・ 市内各所に石器が散布 ⇒ 狩猟の場
縄文時代 東の遺跡・ひつ池・池之原・寺ヶ池遺跡・東村遺跡・大鳥池遺跡

弥生時代 弥生時代後期の高地性集落が成立 ⇒ 茱萸木遺跡（近大病院）

古墳時代 狭山池主谷の低地に小規模な集落が成立 ⇒ 池尻遺跡（3世紀）
泉北丘陵から市域西側の高位段丘で須恵器生産コンビナート
⇒ 陶邑窯跡群（5世紀前半）
※6世紀後半には市域全域へ拡大

飛鳥時代 狭山池築造 616年頃 ⇒ 下層東樋・北堤
※コウヤマキ製樋管の年輪年代測定、狭山池1号窯造営
古代寺院の造営 ⇒ 東野廃寺

奈良時代 狭山池 行基の改修 天平3年・731年
北堤のかさ上げ
天平宝字の改修 天平宝字6年・762年
北堤の大幅な拡幅、下層東樋の延長

平安時代

狭山池 弘仁の改修 弘仁 10 年・819 年頃
僧 勤操? 下層東樋の取水部補修
興福寺荘園 狭山荘の成立 ⇒ 池尻遺跡
狭山神社の造営

鎌倉時代

狭山池 重源の改修 建仁 2 年・1202 年
古墳の石棺を用いて「石樋」を伏せる ⇒ 中樋
重源狭山池改修碑 ex. 南無阿弥陀仏作善集

南北朝期

動乱より城郭造営 ⇒ 池尻城跡 13 世紀末～15 世紀前半
半田城 → 狭山神社の宮山?
池尻合戦 : 延元 3 年・1338 年、正平 2 年・1347 年

戦国時代～

安土桃山時代

狭山池 安見美作守の改修 天文年間頃 16 世紀
文禄 5 年の大地震 北堤一部決壊 1596 年

江戸時代

狭山池 慶長の改修 慶長 13 年・1608 年
片桐且元による大規模な改修で再生 西樋材 1599 年
元和・寛永・慶安・延宝・元禄・享保・文化・天保・
安政と、以後継続的に改修を実施 ※池守田中家
狭山藩の成立 元和 2 年・1616 年 北条氏信







